

はちろうがた

2008年12月定例会 第98号

# 議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

TEL 018-875-5810



11月29日

八郎潟幼稚園発表会

年長組



年中組



年少組

- ◆ 2ページ …… 新年のあいさつ
- ◆ 3ページ …… 一般質問
- ◆ 6ページ …… 議員表彰
- ◆ 7ページ …… 委員会審議
- ◆ 8ページ …… 請願・陳情/議会の動き





# 新年のあいさつ

八郎潟町議会議長

小柳



あけましておめでとうございます。

新たな希望、夢ふくらむ新年を迎えご同慶に存じます。

去年は幸い天候に恵まれ、米価低迷の状況ですが稲作作況指数一〇五の豊作で喜んでおります。

十一月二日、突然の“竜巻”襲来による町営川崎住宅が損壊の被害を蒙り、入居者は大きなショックを受けられ、大変ご難儀なされたと思います。幸い県当局、町消防団、町建設業協会、町建築士会、建築業者などのご協力、町当局の努力により暮れには、復旧工事が完成し、被災者の皆様も平穏な正月を迎えることができるとホッとしております。

— 待望の安全でおいしい水を供給する上水道の「高度浄水処理施設」は四月一日から稼働します。

”人・環境・文化のきらめく八郎潟”の理念を掲げる「町総合振興第五次基本構想」も四年目を迎え「実施計画」は毎年点検して対応策を講ずるため”見直し”が必要です。若き畠山町長がリーダーシップを発揮し、発想の転換をはかり、厳しい財政の中でもメリハリある予算編成で、経済不況を克服する、新たな町づくりへの果敢な実行に期待します。

議会としても町当局と切磋琢磨、政策提言し、元氣のである農業の実現、商工業の活性化、教育振興、福祉の充実に全力投球で努力して参ります。

新しい年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

議長

小柳 勉

副議長

小野 廣

議員

菊地 勝 仕

伊藤 秋 雄

金 一 義

村 井 剛

三 戸 留 吉

土 橋 吉 晴

近 藤 美 喜 雄

佐 藤 長

(議席順)



# 一般質問



村井 剛 議員

## 町政の基本姿勢と来年度の町政を問う

**問** 就任以来3ヶ月目、これまでの町政の点検と見直しが図られ、町長の所信、基本姿勢が示された。この所信とのかかわりで、来年度の町政の方針を問う。

又、来年度における重点施策と、4年間にわた

つての最重要政策を問う。

**答** 環境にやさしい農業と経営所得安定対策の充実。

商工会・商店会・町とで振興策を策定し、商店街のにぎわい創出を図る。

人間尊重の精神のもと、人・環境・文化と知・徳・体の調和のとれた教育を旨とし、3教育の連携を期す。後期高齢者医療制度の創設、介護保険制度の見直しに対応し、保健センターを中心に各種事業の展開。

出産奨励金、保育料の軽減、福祉医療費及び子育て支援の独自支給。高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定。健康な高齢者維持の為の事業等で、少子高齢化対策にあたる。

来年度の重点施策は、

農業政策で、転作の完全実施と環境に配慮した農業の展開。住み良い町づくりの為の道路・水路の整備。

4年間での最重要政策は、実質公債費比率16%台の財政運営。湖東総合病院の早期改築実現。

## 早期に教育委員会体制確立を！

**問** 10月から教育長が空席となり、兼務していた公民館長も不在の異常事態。

この人事案件も『3月議会まで提案しない』との事。年度末を控え、来年度の事業計画、予算編成、小中学校の人事異動、児

童生徒の生活指導・進路指導等、山積する課題に的確に対処する為に、早期の体制確立が急務である。又、公民館長は、専任とすべきであるが？

**答** 教育課の職員体制の現状、幼・小・中教育現場の実態等把握した上で、又教育委員会への対応もあり、12月議会への提案は無理と判断した。人事は、今進めているので理解願う。

公民館長については、今後の社会教育のあり方を考え、検討する。

**再問** 町の財産は、人である。人づくりが町発展の礎である。町民の関心も極めて高く、心配している。一日も早く体制確立を！

**答** 進めていると言うことで、理解願う。



佐藤 長 議員

## 八郎潟ブランド米定着に対する構想について

**問** 町長は、町を統轄し全体の代表者として行政執行の責任を有するものである。計画的・効率的に管理することも、統轄権を持つ町長の権限であることは充分認識してい





るでしょう。議会議員も住民の代表として予算審議を通して議論し、町の政策を予算として確立するのであるが、その過程において町長の捉え方と異なる場合があり、修正が当然出て来るものであり、それを真摯に受け止め施策をすべきでしょう。町長の基本方針に目先の利益や美辞麗句に惑わされる事なく町政運営に真向から取り組むことを誓う、といわれています。

**問** ギーは明るい展望を切り開く町民の行動の中にあると思います。

**答** 町の基幹産業と云われますが農業についてJAあきた湖東と連携を図りながら農業所得の増加を図る八郎潟ブランド米の構想は全農家を対象としなければ町ブランド米は出来ないと思う、その構想は如何にあるべきか。

**答** 環境に配慮した環境保全米を農家にも説明し、栽培グループを育成しながら、栽培基準や販売方法を検討し、八郎潟町の環境保全米の確立を目指したい。



### 新町長の今後の政策を問う



伊藤 秋雄 議員

**問** 厳しい財政運営が続く中、畠山新町長は今後

四年間の公約として「湖東総合病院改築の早期実現」子どもたちの能力を引き上げるための小学校の少人数学級化・八郎湖の水質改善対策・一日市商店街に中核的拠点の設置による交流人口の増加促進・農産物の付加価値向上に向けた環境保全型農業の推進など5つの公約と無駄を省き財政健全化をするため財政基盤再構築の必要性をどのように進めていくのか。

**答** 湖東総合病院の改築事業は厚生連の財政が厳

しい状況にあるため遅れている。引き続き要望していく。少人数学級化・八郎湖の水質改善・空き地、空き店舗を利用した一日市商店街の活性化など公約した政策は確実に実現し現在実施しているものでも必要のないものは見直し、町有地の売却処分など無駄をなくしていく。

### 我が町の定額給付金の配布の取り組み

**問** 政府は金融危機を受けて追加経済対策に生活

支援として、定額給付金を本年度中(2009年3月末)を目途に支給を実施するようであるが支給は世帯主の口座振込みなのか・役場の窓口で現金支給するのか・世帯主が寝たきりで窓口に行けない場合・担当課はどこに設けるのか等膨大な事務作業が必要である。我が町では定額給付金をどのように支給するのか話し合い、そして決定した場合にはどのように町民に通知するのか。

### 我が町の人口減少と経済は

**問** 秋田県は高齢化率が

七月一日現在前年の同期比0.6%増の28.6%将来の推計では2010年で本県が全国の高齢化率トップの見通し。本町は25町村内で20番目29.3%少子高齢化・人口減少で経済などに大きく影響し深刻な問題となる。秋田地域振興局管内の県民所得(人口1人当り264

**答** 国の予算、実施時期もはつきり決まっていないので今後県町村会と足並みをそろえていきたい。総支給額は1億746万8千円となる予想だが所得制限は設けない。

万4千円)1位大潟村36万4千円我が町は(19万4千円)14位。経済をいかに成長させていくかは現在進行中の大問題である。長期展望の策定作業に取り組んでいるか。

**答** 少子高齢化抑止策として、子育て支援・町営住宅の整備・雇用の場の確保・産業の振興などを推進している。学校教育をどうするか・生産年齢人口は、地域農業をどう展開するか・後期高齢者への対応などが課題となる。この現状をふまえ地域農業の安定化(循環型農業の推進・町の特産を生かした特産品づくり・企業誘致への積極的な取り組みなど安心して暮らせる元気な町づくりに努めていきたい。





近藤美喜雄 議員

### 新町長の町政運営 に対する町民公約 の中で柱となる政 策はなにか

**問** 財政状況を把握する指標の中で、一例をあげれば実質公債費比率で厳しい状況下にある本町財政ですが、その建て直しを進めながら取り組む柱となる政策はなにか。合わせて、それを進める基本的な考え方について、また、自立計画、第五次基本構想の見直しはあるか。

**答** 経済状況を勘案しながら、基本構想に基づいて進めたい。減農薬等による循環型の特徴ある米

づくり、国庫補助などを活用した道路網の整備、財政の健全化などであります。  
自立計画、基本構想の見直しについても、職員の見直しなどについて検討していきたい。

### 21年度予算編成の 基本方針について

**問** 福祉、教育、産業の分野においては、予算を削減しない方向で進めたいとしていたようですが、景気後退色が強まる厳しい財政運営の中、どのような考え方で対処するか、また「住民負担とサービス給付」のバランスのとれた町政運営についても説明いただきたい。

**答** 19年度における各会計の地方債残高は総額72億円、実質公債費比率24・9%、比率の高い要因は中学校建設、町道中央線整備事業などである。任期中には実質公債費比率16%台を目標に努力する。そのためには自立計画、基本構想に添って進

めたい。町車事業としての普通建設事業は毎年度4千万円程に抑える、新規事業は十分吟味していきたい。毎年度決算の赤字額は健全財政のためできるだけ基金として積立したい。  
21年度予算は、基本構想の実施計画を考慮しながら、職員の創意工夫によって編成したい。

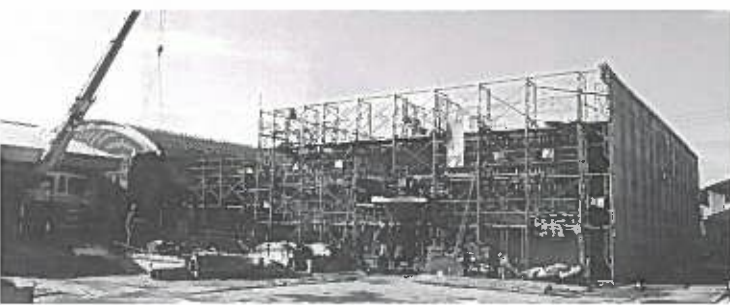
### 高度浄水処理事業 に伴う上水道会計 の財政シミュレ ーションをどのよう に解釈しているか

**問** アオコの発生に端を発し、高度浄水処理が導入されましたが、他にも農業排水、企業排水、不法投棄の産廃などによる残留農薬、化学物質などによる原水汚染がありま

す。また塩素に頼る今の浄水方法は、発ガン性物質トリハロメタンの発生条件を増加させるとも言われていますので、これらの水の汚れに「オゾン処理」は有効だとされて

います。そこで伺います。今後上水道を運営管理していく財政シミュレーションを町長はどのように受け止めているか。

**答** 高度浄水処理事業については、町民に安全、安心な飲料水を供給するには必要な施設と認識している。管理運営については最善を尽くしたい。水道事業会計は非常に厳しく、経費削減に更に努力する。県に対しても支援要請をしたい。



### 公約にある農業、 産業振興につい ての取り組みと、 予算、組織、工 程について



金 一義 議員

**問** 「八郎潟米」のブランド米をつくとあるが今後の指導体制は、JAとの連携は具体的に示せ。直売所の支援とあるがどのような支援をするのか、中小企業退職金共済の一部負担を町でとあるが、その時期と負担額は、商店街振興にある、交流施設の活用と、コミュニティマートの支援とあるが、その場所を示せ。

**答** 環境にやさしい農業、「八郎潟米」の定着。3

つの直売所を支援する。今後の予算、組織は21年度予算に示す。交流の場としてバリエーション地を考えている。

### 教育についての新 しい取り組みにつ いて具体的な数値 予算を示せ

**問** OB教師の力をかりて「八郎潟町独自」の教育サポートシステムを作るとあるが、OB教師の数、予算組織等を具体的に説明せよ。国際的な感覚を見につけた教育の充実のため、外国人との交流促進のためALTの多角的活用とはその活用方法を示せ。

**答** 教育サポートシステムには何の教科に必要なのか学校と相談する。







福祉について取り入れようとしている内容についての予算は

**問** 高齢者の健康管理に「福祉員制度」の導入を図るとあるが、その仕組みは。子供の安全を守るため新入生からGPS機能の付いたグッズを助成とあるが具体的に説明せよ。湖東総合病院の早期改築についての近隣町村に対してのリーダーシップの取りかたは。

**答** 町の包括支援センター、社会福祉協議会各種機関と連携し高齢者が安

心して暮らしが出来るよう全体で支え合う体制づくりをする。

予算については、例年同様の予算を考えている。安心して子育てが出来るよう町では、離乳食教室や、育児教室等の環境を整えている。

**住民生活とある公約に対する予算・システム・工程は**

**問** 上水道の高度浄水処理システムのランニングコスト増を心配していますが、今回の値上げだけでまかないきれぬか、また町の人口増の為、空家、安価な宅地提供とあるが、具体的に示せ。

**答** 高度浄水処理については1年間の推移を見る。人口増のための安価な宅地提供については、その場所として役場隣の駐車場を予定している。また、企業誘致の場所もこの土地を予定している。

市町村合併に付いての考えは

**答** 合併破綻後17年自立計画を策定し、当分のあいだ単独立町をして行く道を選択したが、今後町民の意向に沿った方向で考えて行く。

**行政機能の活用についてのスキルアップをどのようにして行うか**

**問** 公約にある国、県の補助事業に関しての、いままでの政策との違いは、役場職員の資質のスキルアップをどのように行うのか、また企業誘致はその計画を示せ。

**答** 人口増を図る為企業誘致を考えている。また常に国・県の補助事業にアンテナを張り、積極的に活用を図り財源確保にあたりたい。19年度から町村会が実施している職員合同研修に参加して県職員と交流している。



元八郎潟町議会議員 伊藤鐵太郎氏

旭日単光章を受章

昭和39年3月から昭和47年3月まで五城目町議会議員として昭和48年2月から平成5年2月にわたり八郎潟町議会議員として在職された。元町議会議員の伊藤鐵太郎氏(昼根下)が旭日単光章を受章されました。永年の地域住民福祉の向上、地方自治の発展に大きく貢献されたことが認められ、受章となりました。おめでとうございます。

八郎潟町議会議員 佐藤長氏

総務大臣感謝状を受賞

佐藤議員は、昭和48年2月から35年以上町議会議員として地方自治振興に寄与、住民福祉の向上に尽力されている功績が認められ、このたび総務大臣からの受賞となりました。

八郎潟町議会議長 小柳勉氏

地方自治功労者として秋田県知事表彰を受賞

小柳議長は、昭和35年4月から昭和63年11月退職まで28年8カ月間、八郎潟町職員として勤務。平成元年2月に八郎潟町議会議員に当選以来19年6カ月余り在職しており、議員活動を通じて本町発展に尽力されており。



# 各常任委員会の

# 審議

## 総務教育 常任委員会

**問** 小学校費に、耐震診断調査委託料として、710万3千円が計上されている。以前の簡易耐震調査では、大丈夫であったのでは？

**答** 平成17年度に実施した簡易耐震調査では、全ての分野で、5段階評価の5と認定され、大丈夫との評価であった。中国四川省の地震災害により、本格的な調査を全国的に行う事となった。本町でも、来年度に行う予定であった。この度、国から地域活性化・緊急安心実現総合対策事業として認められたので、前倒しで実施する事とした。  
※総括質疑においては、

副町長に出席を求め、教育委員会の体制整備の遅れ、とりわけ教育長不在は、時期的に町民に不安を与えるので、緊急に対処すべきである旨、総務教育常任委員会の統一見解として伝えた。

## 民生産業 常任委員会

**問** たかおか霊園は完成後どのようなになっているか。

**答** 11月21日に工事は予定通り完成している。完成前の10月25日に現地見学会を行い、当日63名の申込、その後、3名の申込があり、現在、102区画中66区画が決定しました。今後PRに努めてまいります。

進入道路は幅員などの測量を終え、来年度用地買収と工事を行う予定であります。

**問** 農業夢プラン補助金で購入される大豆播種機等、集落営農集団の運営と経営の改善について。

**答** 集団が便宜上のもので、機械が個人購入することにならないよう、集落営農集団の運営に考慮し、購入する機械も集団で共同で利用されるよう、また、目標に向かって、利益のあがる集団になるよう指導を強めていきます。



## 平成20年 八郎瀉町議会12月定例会提出議案

議案番号	審議案件	結果
議案第81号	平成20年度八郎瀉町一般会計補正予算(第5号)の専決処分について	原案可決
議案第82号	八郎瀉町犯罪被害者等基本条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第83号	八郎瀉町町税条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第84号	八郎瀉町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第85号	八郎瀉町国民健康保険条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第86号	平成20年度八郎瀉町一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
議案第87号	平成20年度八郎瀉町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第88号	平成20年度八郎瀉町上水道特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第89号	平成20年度八郎瀉町老人保健(医療)特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第90号	平成20年度八郎瀉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第91号	平成20年度八郎瀉町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第92号	平成20年度八郎瀉町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
発議第2号	八郎瀉町議会会議規則の一部を改正する規則案について	原案可決



# ■ 請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名			審査委員会	本会議結果
「地方消費者行政の技術的拡充及び法制度の整備等を求める意見書」の採択等を求める陳情書	秋田弁護士会 会長	佐々木	優	総務教育	採 択
災害時避難のハザードマップを作成する事の要望書	政治結社 三和塾 塾長	山 原	裕	民生産業	不採択
議員報酬を日当制にする事の要望書	政治結社 三和塾 塾長	山 原	裕	総務教育	不採択
原油・肥料・飼料高騰並びに国産農畜産物増産・自給率向上に向けた要請書	あきた湖東農業協同組合代表理事	組合長 舘 岡 誠	一	民生産業	採 択
労働者派遣法の改善のため意見書を提出することを求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長	佐々木	章	民生産業	採 択
医師・看護師不足を解消し、安心して地域医療を進めるために国・県に意見書提出を求める陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長	渡 辺	淳	民生産業	採 択
介護保険制度の抜本的改善を国に求める意見書採択を要請する陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長	渡 辺	淳	民生産業	採 択
特別支援教育支援員の配置に関する陳情書	秋田県教職員組合男鹿南秋支部	支部長 佐 藤 寿 芝		総務教育	採 択
ペットの移動火葬車に関する陳情書	日本動物霊園連合 代表	久 喜 清 外		民生産業	採 択
法務局の増員に関する陳情	全法務省労働組合東北地方本部 秋田地方法務局 支部 秋田分会 分会長	秋田地方法務局 支部 渡 部 政 勝		総務教育	採 択



## 議会のうごき

10月

- 7日 秋田県町村議会議長会理事会 於 東成瀬村
- 9日 八郎湖周辺清掃事務組合臨時議会
- 15日 八郎湖水質浄化ヘドロ対策に関する勉強会
- 17日 例月出納検査
- 22日 総務教育常任副委員長 佐藤長 氏  
総務大臣感謝状受賞(議員35年以上)  
於 東京都 ホテル・ルポール麹町
- 25日~26日 町文化祭 於 農村環境改善センター
- 27日 町村議長と知事との行政懇談会  
於 市町村会館
- 31日 議会議長 小柳勉 氏 地方自治功労表彰  
於 秋田県庁  
町条例による表彰式 於 農村環境改善センター

11月

- 5日 南秋田郡町村議会正副議長並びに事務局職員  
合同研修会 於 大潟村
- 7日 地域振興局の地域別懇談会 於 総合庁舎
- 11日 秋田県後期高齢者医療広域連合11月定例会  
於 市町村会館
- 12日 例月出納検査
- 13日 議会全員協議会

11月

- 13日~14日 町定期監査
- 18日~20日 町村議会議長全国大会 東京方面
- 19日 あきた湖東農業協同組合合併十周年記念式典  
於 八郎潟ハイソ  
五城目町・八郎潟町県道整備促進期成同盟会

12月

- 2日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 10日~12日 12月定例町議会
- 16日 例月出納検査
- 18日 広報編集委員会
- 19日 八郎湖周辺一部事務組合議会  
於 クリーンセンター  
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会  
於 八郎潟町役場
- 22日 湖東地区行政一部事務組合議会  
於 湖東消防本署  
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合監査  
於 八郎潟町役場
- 24日 広報編集委員会
- 26日 広報編集委員会  
仕事納め

### 編集後記

新年明けまして、おめでと  
うございます。

議員の任期最後の議会。し  
かも、就任三ヶ月目の島山町  
長にとっては、初議会と言う  
巡り合わせの議会でもあった。  
双方に緊張感の漂う議会の展  
開に、今後の町の発展を願う  
姿を見る思いであった。

議会広報の編集を担当し、  
最後の編集となりました。親  
しまれつつ、読まれる紙面づ  
くりを目ざしたものの、未熟  
さが目立つ内容に反省してお  
ります。

より一層充実した議会広報  
を、次の編集委員の活躍に期  
待したい。  
最後に、新年を迎え皆様の  
御多幸を御祈念申し上げます。  
(村井)

議会広報編集委員会  
委員長 村井 剛  
副委員長 近藤美喜雄  
委員 伊藤 秋雄  
菊地 勝仕  
小柳 勉  
小野 廣

